



只今開会中の9月定例会では、昨年度の決算の審議が行なわれます。市のお金の使い方を考える場です。

コロナの影響で来年度は今年度にも増して税収の減が予想されており、財政状況は悪化が避けられません。そんな中で大切にしなくてはならないことは何なのか。それを考えるための決算監査議会でご参考ください。

大企業優遇でなく

中小企業の支援

誘致企業などへの固定資産税を3年間おまけする補助金には3億1478万円使われていますが、法人税は貿易摩擦による自動車などの輸出産業の不振で2億8000万円も下がりました。都市計画のない地域からも徵収している都市計画税16億3783万5千円は下水道事業や道路建設やその借金返済に充てられています。

令和元年度の 都市計画税は

16億3783万 5千円

內訛

- ・土木費1億1154万9千円
- ・公債費5億7733万5千円
- ・公共下水道特別会計
9億4895万1千円



おしろいばな
よい香りで夜の
虫を誘います

ふるさと納税の使い道は？

ふるさと納税は⑦その他市長が必要と認める事業が全体の32.3%にあたります。【①地震・津波対策②保健医療・福祉など7項目から選ぶ仕組みです】

市長はこれをほとんど使わず毎年基金に積み立てています。(今までに松ヶ岡整備推進費に支出しただけです)

現在基金の残高は3億 6740 万円余
いったい何に使おうと考えているのですか?
コロナ禍で困っている今 使うべきだと思います。

中小企業への支援は桁違いに少なく、人気の住宅リフォーム助成制度などは1500万円の予算では足りなくなり、今年も申請多数で、10万円の上限が7万6000円にまで引き下げられてしまいました。

生活保護の手引きを窓口に、案内も見やすくと要望しても一度置かれてもすぐにカウンターから消えてしまうし、手引きの内容なども改訂されません。自助・共助と自己責任が様々な分野で強調されすぎれば、弱い立場の方々はますます声をあげにくくなります。

待機児童の解消は急務

国の監視や企業に個人情報が使われる事へ危惧や、カード情報の流失や不正使用など、次々起ころる事件が逆に不安を広げています。

マイナンバーカード普及を
とにかく推進しているが……